

2023年度

事業報告

2023年 4月 1日から
2024年 3月31日まで

公益財団法人 神林留学生奨学会

1. 事業活動

(1) 外国人留学生奨学金支給事業／活動、研究への助成事業

①2023年4月26日(水)

選考・審査委員会開催。2023年度奨学生として、大学院生15.5名の採用を決定（新規採用9名のうち辞退者1名、継続採用6.5名）。同研究助成9件の採用を決定。

②2023年5月1日(月)

採用者および大学宛に採用通知発送。研究助成採用通知発送。

③2023年12月9日(土)

選考・審査委員会、理事会を開催して、指定校を入れ替え、指定校を35校から38校に増やした。

④2023年4月1日(土)～2024年3月31日(日)

2023年度奨学生のうち1名は辞退したので支給せず。半年の1名には14万円を半年間支給し、残り14名に対しては、各14万円を月々支給（但し、4・5月分は15名に対し5月に支給）【総額：2,436万円】。2023年度研究助成では、年間100万円の9件に対し、5月に各50万円、11月に残りの50万円を支給した。12月9日(土)に開催した選考・審査委員会により、追加の研究助成1件の採用を決定し、12月に50万円を支給【総額：950万円】。

⑤2024年1月15日(月)

2024年度募集書類（推薦依頼）を指定大学（38校）宛に発送。

(2) 奨学生に対する主な奨学支援事業【総額：2,424,145円】

①2023年5月20日(土) 【支出合計額：315,045円】

「2023年度奨学生採用式」を学士会館で開催。また、採用式終了後の歓迎昼食会では奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、あわせて生活指導を行った（出席者39名）。

②2023年9月30日(土)

奨学生の「エッセイ、小論文」、研究助成者の「研究中間報告」の提出締切。奨学生の、日本と自国に対する思いや留学での関心事、研究内容等を把握する上で大変役立つ。同時に、生活指導の資料として貴重なものとなった。役員の方々にも奨学生の小論文のコピーを郵送した。

③2023年12月9日(土) 【支出合計額：1,156,215円】

年末交流会を学士会館で開催。奨学生、研究助成者、奨学生OBとその家族、財団役員が一堂に集い、相互交流を図り親睦を深めた。今年は神林章夫前理事長のお別れ会も兼ねて開催した（参加者77名）。

④2024年2月

奨学生に対し、卒業の可否、次年度の進級・進路予定等の確認を行った。

⑤2024年3月13日(水) 【支出合計額：696,095円】

「2023年度研究報告会・送別会」を学士会館で開催した。奨学生や研究助成者に1年間の研究成果を発表してもらい、卒業者7名（修士4名、博士3名）にお祝いとして図書券を手渡した（不参加の卒業生には郵送）。研究報告会終了後、奨学生、研究助成者と財団役員の交流を図り、食事会を催した（出席者30名）。

⑥奨学生に、日本、アジアの文化芸術を学んでいただく目的で、次のイベントに参加した。同時に役員、奨学生の交流を図った。

1) 2023年7月20日(木) 【支出合計額：77,340円】

「社会人のための歌舞伎鑑賞教室（双蝶々曲輪日記—引窓—）鑑賞（於、国立劇場大劇場）

2) 2023年8月20日(日) 【支出合計額：22,000円】

OB「田大成テノールリサイタル」鑑賞（於、洗足学園音楽大学シルバーマウンテン2F）

3) 2023年10月20日(金) 【支出合計額：85,550円】

「外国人のための能楽鑑賞教室（能：紅葉狩 狂言：太刀奪）」鑑賞（於、国立能楽堂）

4) 2023年11月10日(金)

奨学生「阮欣欣さん博士研究発表会」を鑑賞（於、武蔵野音楽大学ベートーヴェンホール）

5) 2023年12月8日(金) 【支出合計額：39,900円】

「外国人のための文楽鑑賞教室（傾城恋飛脚）」鑑賞（於、シアター1010）

6) 2023年12月25日(月) 【支出合計額：32,000円】

OB鄭宇さんの「第11回東京旋律音楽会」鑑賞（於、文京シビックホール小ホール）

(3) その他

①神林章夫前理事長が2023年11月27日(月)に逝去され、葬儀費用の一部を財団が負担した。【支出合計額：2,970,000円】（福利厚生費より支出）

②横浜国立大学のRAブートキャンプの趣旨に賛同し、費用の一部を負担した。
【支出合計額：450,652円】（雑費より支出）

2. 附属明細書について

2023年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上